

循環器疾患を有する入院患者に対する、包括的心臓リハビリテーションの実施

●説明

心臓リハビリテーションは、心臓病に対する有効性の高い治療介入法の一つです。心臓リハビリテーションは単職種によるものが一般ですが、当院ではかねてより多職種介入による包括的心臓リハビリテーションを積極的に行ってきました。当院からの報告では、多職種介入包括的心臓リハビリテーションを行うことにより、退院後の心血管予後が有意に改善することが明らかとなっています。理学療法士のみではなく、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など複数の職種が介入した心臓リハビリテーションを、包括的心臓リハビリテーションと定義します。

●計算式

$$\text{QI} = \frac{\text{多職種介入による包括的心臓リハビリテーションを施行し得た患者数}}{\text{心臓リハビリテーションを行った全入院患者数}} \times 100$$

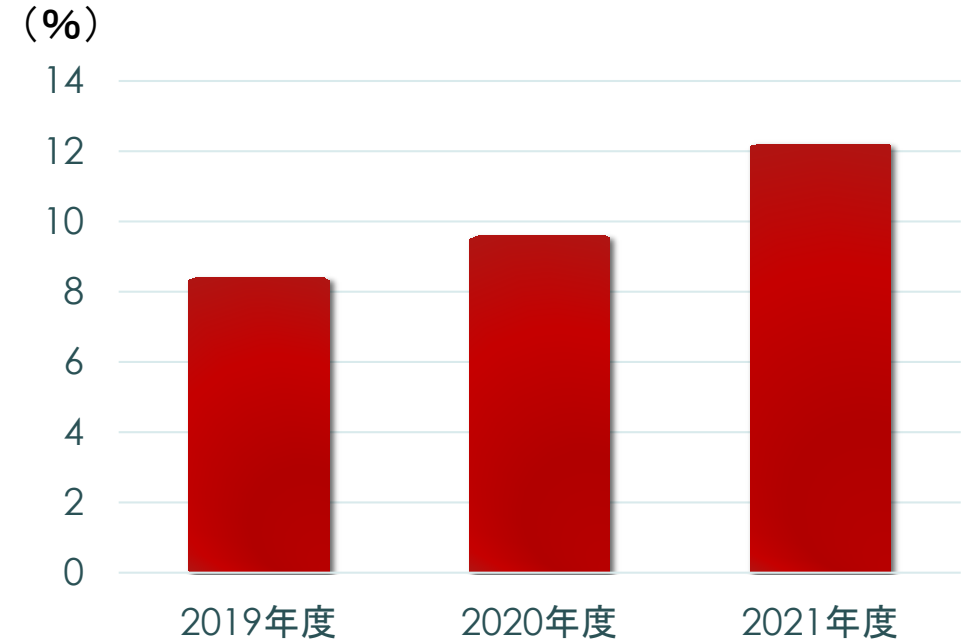
●目標

多職種編成のチームによる包括的心臓リハビリテーションを実施し、ひいては患者の長期予後を改善させることを達成目標とします。次年度は実施率15%を目標とします。

●計画

心臓リハビリテーションカンファレンスを通じて、対象患者の適切な pick up に努めます。また、対象患者に対しては、多職種介入による積極的な包括的心臓リハビリテーションを実施します。

●実績



●評価

実施率は、12%と昨年の目標には達していませんでした。これまでの推移から、昨年度の目標の15%を再度設定し、目標達成にむけて努力します。